

土浦市
男女共同参画社会に関する調査
報告書

平成 27 年 7 月

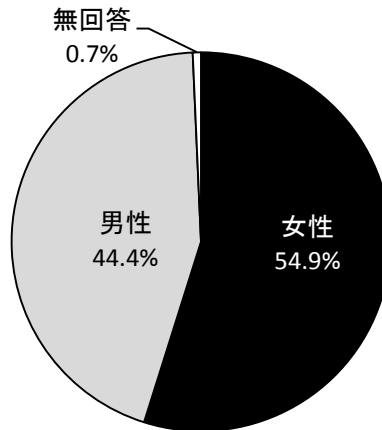
土浦市 男女共同参画課

1. あなたご自身について

(F 1～F 5とも、それぞれ1つに○印をつけてください)

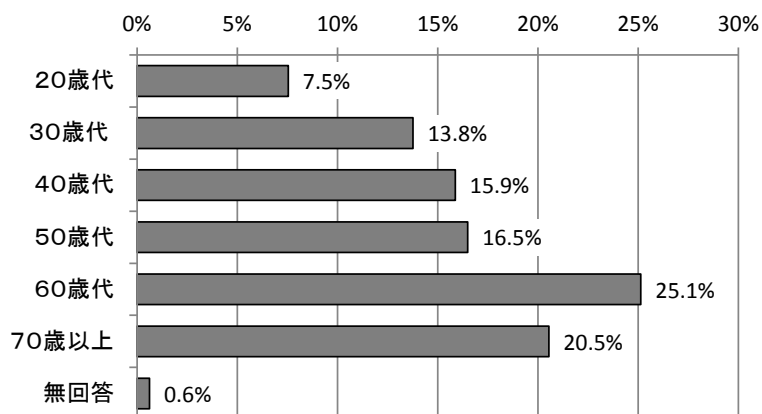
F 1 あなたの性別はどちらですか

回答者の性別は「女性」が 54.9%、「男性」が 44.4%と「女性」の回答者がやや多くなっています。



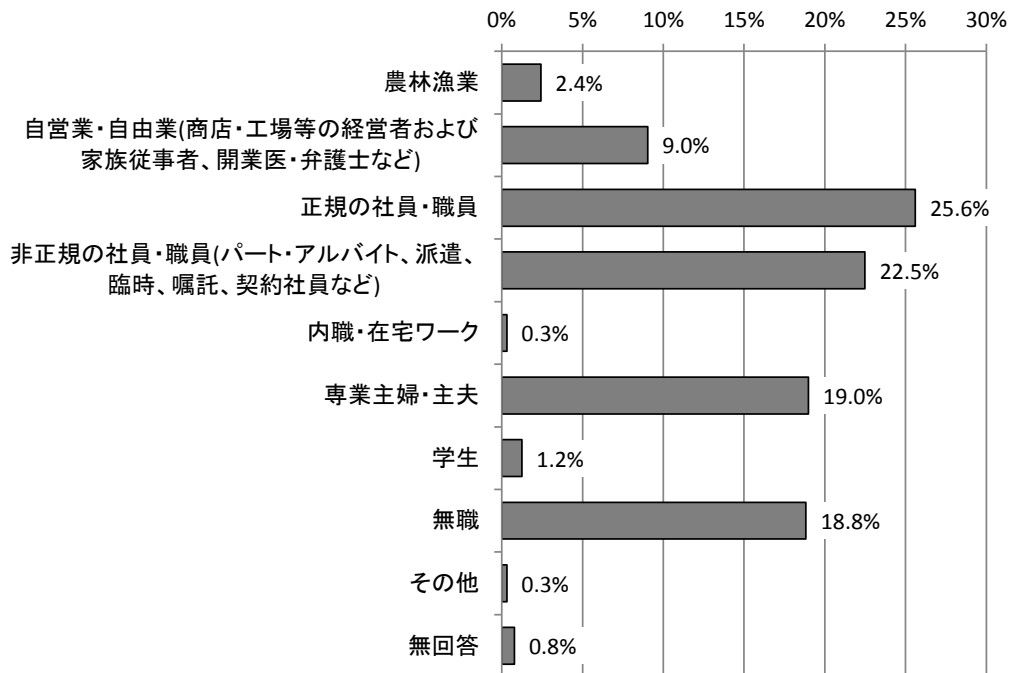
F 2 あなたは何歳代ですか(H 2 6 年 9 月 1 日現在)

回答者の年齢は「60歳代」が 25.1%と最も高く、次いで「70歳以上」が 20.5%、「50歳代」が 16.5%となっています。



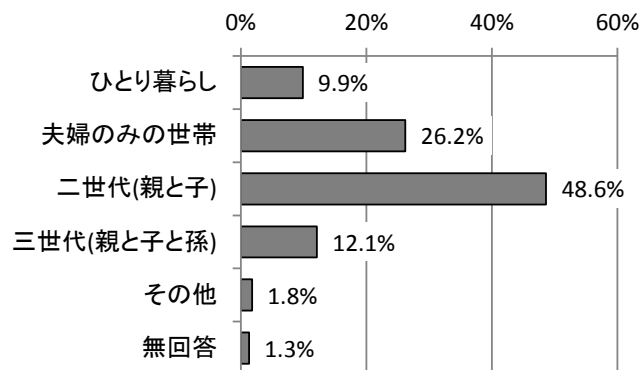
F 3 あなたの主たる職業は次のどれですか

回答者の職業は「正規の社員・職員」が 25.6%と最も高く、次いで「非正規の社員・職員（パート・アルバイト、派遣、臨時、嘱託、契約社員など）」が 22.5%となっています。また、「無職」との回答も 18.8%と高くなっています。



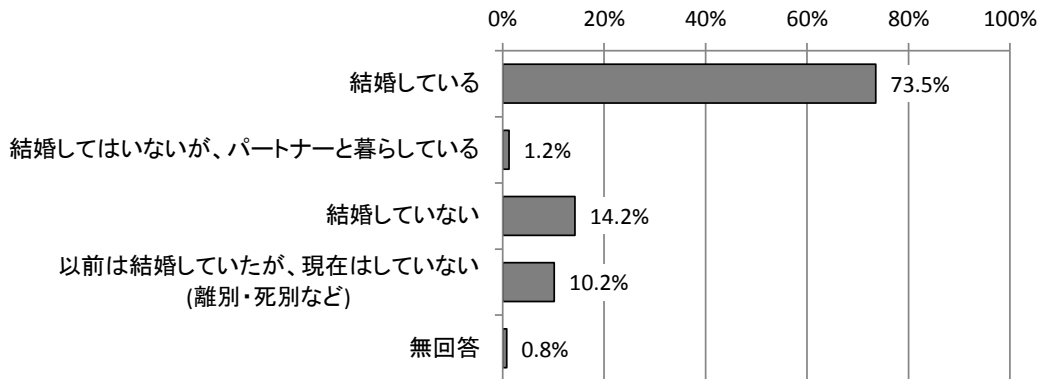
F 4 あなたの世帯状況はどれですか

回答者の世帯状況は「二世帯(親と子)」が 48.6%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」が 26.2%となっています。



F 5 あなたは結婚されていますか

回答者の結婚状況は「結婚している」が73.5%と最も高く、「結婚していない」が14.2%、「以前は結婚していたが、現在はしていない（離別・死別など）」が10.2%となっています。



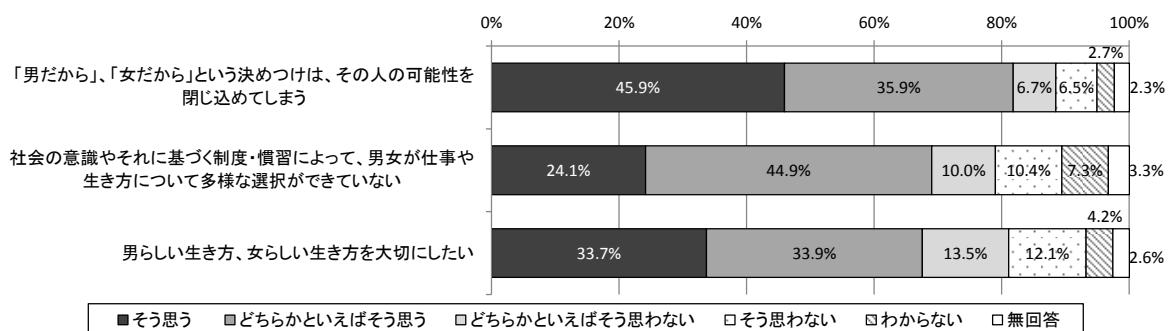
2. 男女の生き方や家庭生活について

問1 次にあげる男女の生き方や家庭生活などに関する考えについて、あなたの感じ方に近いものを、それぞれ1つずつ選んで○印をつけてください。

1) 「男だから」、「女だから」という決めつけは、その人の可能性を閉じ込めてしまうについては、「そう思う（そう思う、どちらかといえばそう思うの合計）」が81.8%、「そう思わない（そう思わない、どちらかといえばそう思わないの合計）」が13.2%と8割以上の方が「そう思う」と回答しています。

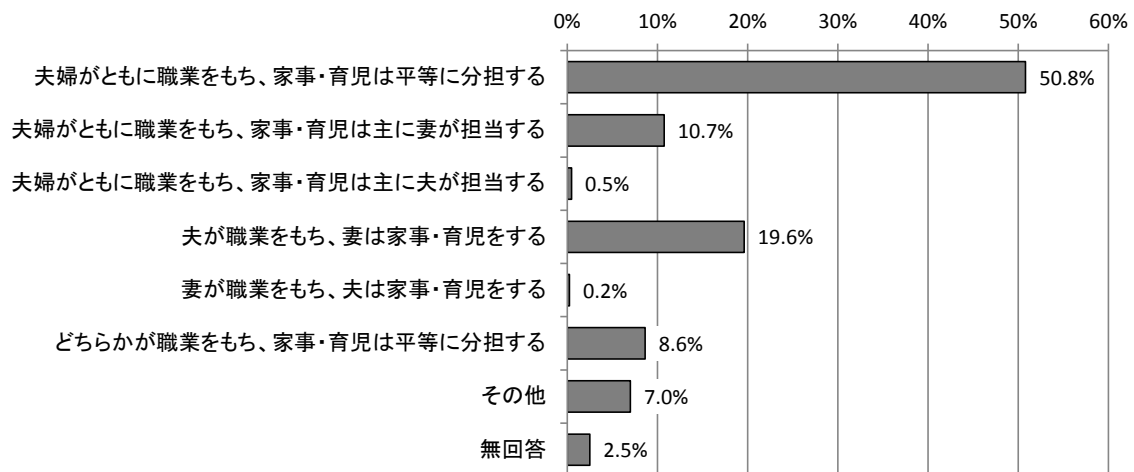
2) 社会の意識やそれに基づく制度・慣習によって、男女が仕事や生き方について多様な選択ができていないについては、「そう思う（そう思う、どちらかといえばそう思うの合計）」が69.0%、「そう思わない（そう思わない、どちらかといえばそう思わないの合計）」が20.4%と約7割の方が「そう思う」と回答しています。

3) 男らしい生き方、女らしい生き方を大切にしたいについては、「そう思う（そう思う、どちらかといえばそう思うの合計）」が67.6%、「そう思わない（そう思わない、どちらかといえばそう思わないの合計）」が25.6%と約7割の方が「そう思う」と回答しています。



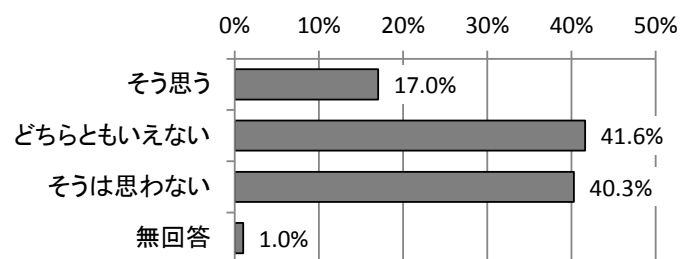
問2 家庭における夫婦の役割分担について、あなたはどうかあるべきだと思いますか。次の中からあなたの感じ方に近いものを、1つ選んで○印をつけてください。

家庭における夫婦の役割分担については、「夫婦がともに職業をもち、家事・育児は平等に分担する」が50.8%と最も高く、次いで「夫が職業をもち、妻は家事・育児をする」が19.6%となっています。



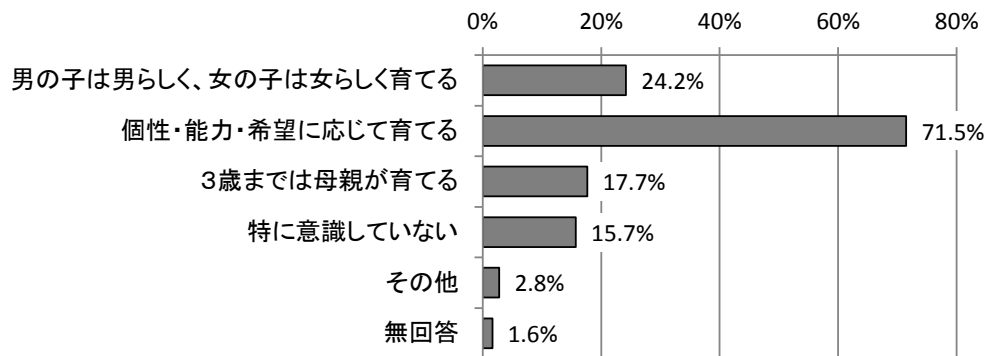
問3 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方をどう思いますか。あなたの感じ方に近いものを1つだけ選んで○印をつけてください。

「男は仕事、女は家庭」という考え方については、「どちらともいえない」が41.6%と最も高く、次いで「そうは思わない」が40.3%となっています。



問4 子育てに関する教育方針についてお尋ねします。あなたの考えに近いものすべて選び○印をつけてください。

子育てに関する教育方針については、「個性・能力・希望に応じて育てる」が71.5%と最も高く、7割を超える方が回答しています。



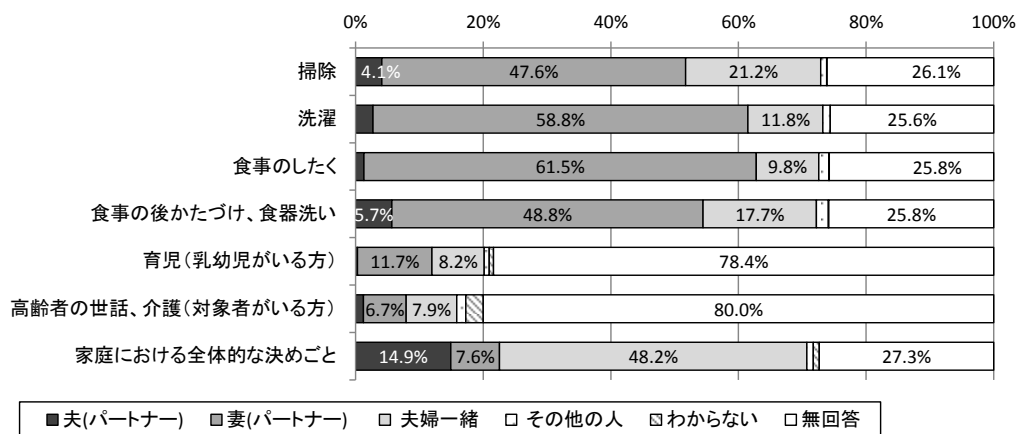
問5 配偶者またはパートナーと同居している方にお伺いします。

それ以外の方は問6へお進みください。

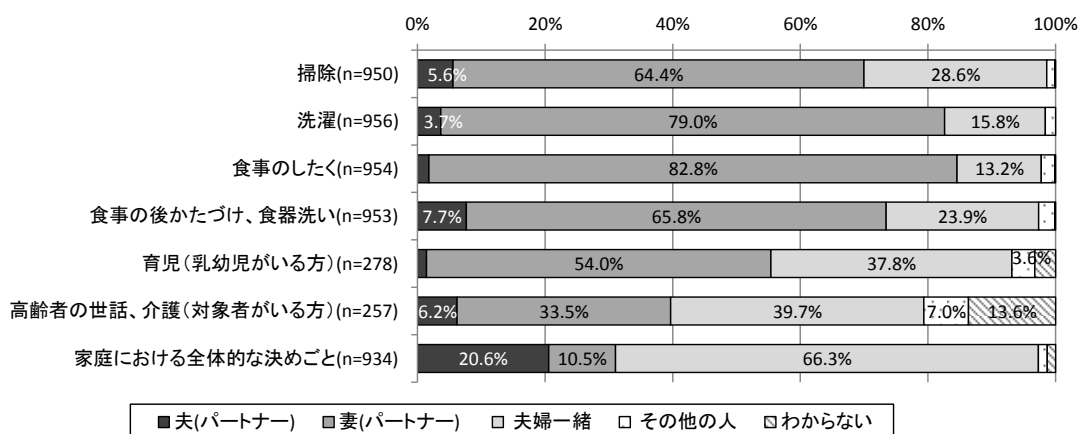
次にあげるような家庭内の仕事等は、主にどなたが担当されていますか。実情に近いものを、それぞれ1つずつ選んで○印をつけてください。

家庭内の仕事については、「妻(パートナー)」という回答が多かった項目は、「掃除(47.6%)」、「洗濯(58.8%)」、「食事のしたく(61.5%)」、「食後の後かたづけ、食器洗い(48.8%)」となっています。

「家庭における全体的な決めごと」については、「夫婦一緒」が48.2%と最も高く、次いで「夫(パートナー)」が14.9%となっています。



【無回答を除いた集計】

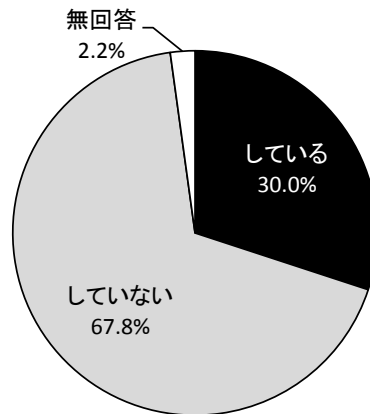


3. 仕事と生活の調和について

(1)地域・社会活動について

問6 あなたは現在、町内会やボランティアなどの地域・社会活動をしていますか。

地域・社会活動については、「している」が30.0%、「していない」が67.8%となっています。

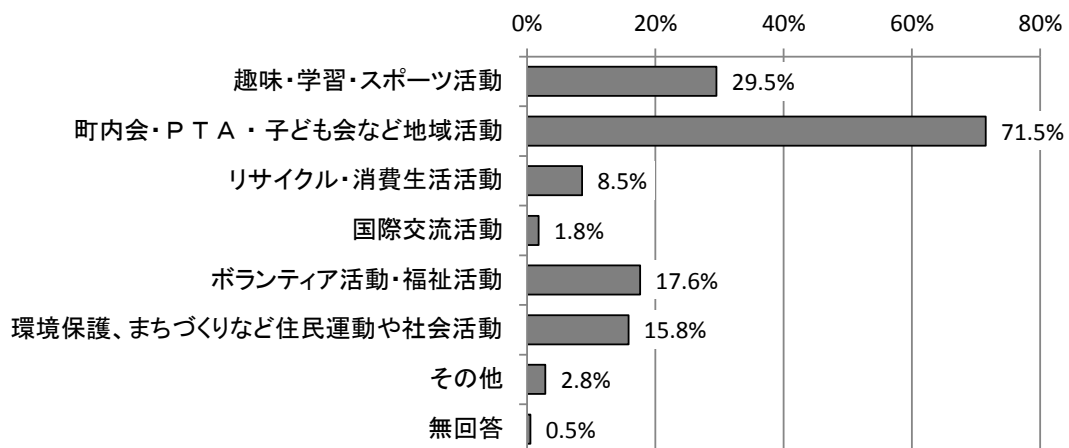


問6-1 問6で“している”と答えた方にお伺いします。

それ以外の方は問6-2へお進みください。

それはどのような活動内容ですか。参加しているものすべてを選んで○印をつけてください。

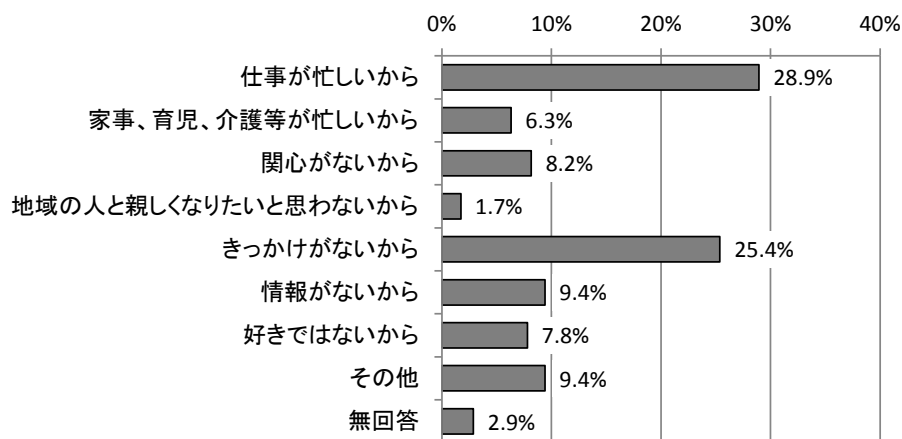
参加している活動内容については、「町内会・PTA・子ども会など地域活動」が71.5%と最も高く、次いで「趣味・学習・スポーツ活動」が29.5%となっています。



問 6-2 問 6 で “していない” と答えた方にお伺いします。

現在、あなたが地域・社会活動をしていないのはなぜですか。主なものを 1 つ選んで○印をつけてください。

地域・社会活動をしていない理由については、「仕事が忙しいから」が 28.9% と最も高く、次いで「きっかけがないから」が 25.4% となっています。

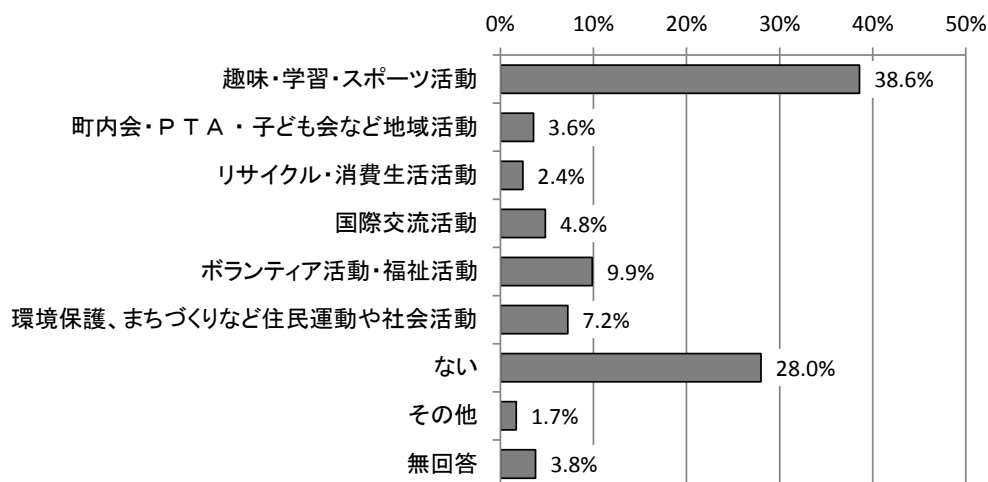


問 6-3 問 6 で “していない” と答えた方にお伺いします。

あなたが今後参加してみたい地域・社会活動はありますか。主なものを 1 つ選んで○印をつけてください。

今後参加してみたい地域・社会活動については、「趣味・学習・スポーツ活動」が 38.6% と最も高く、次いで「ボランティア活動・福祉活動」が 9.9%、「環境保護、まちづくりなど住民運動や社会活動」が 7.2% となっています。

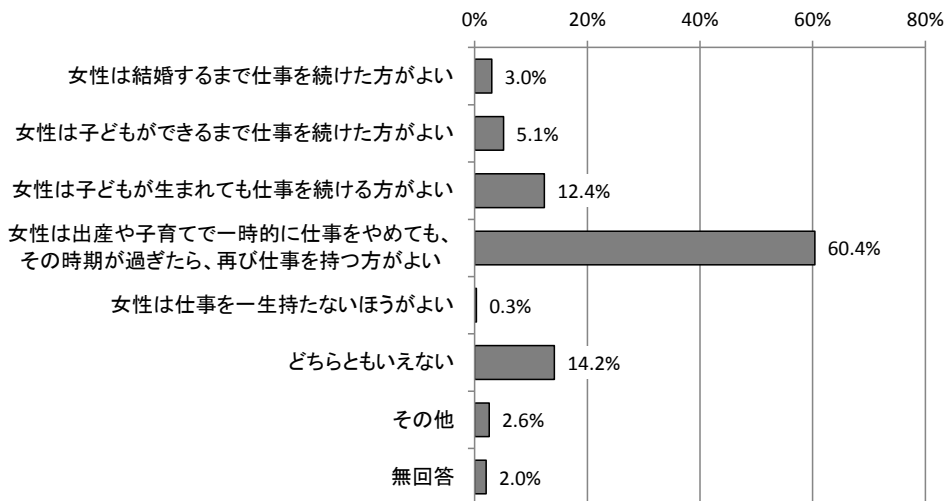
また、「ない」という回答も 28.0% と高くなっています。



(2) 働き方とそれを支える制度について

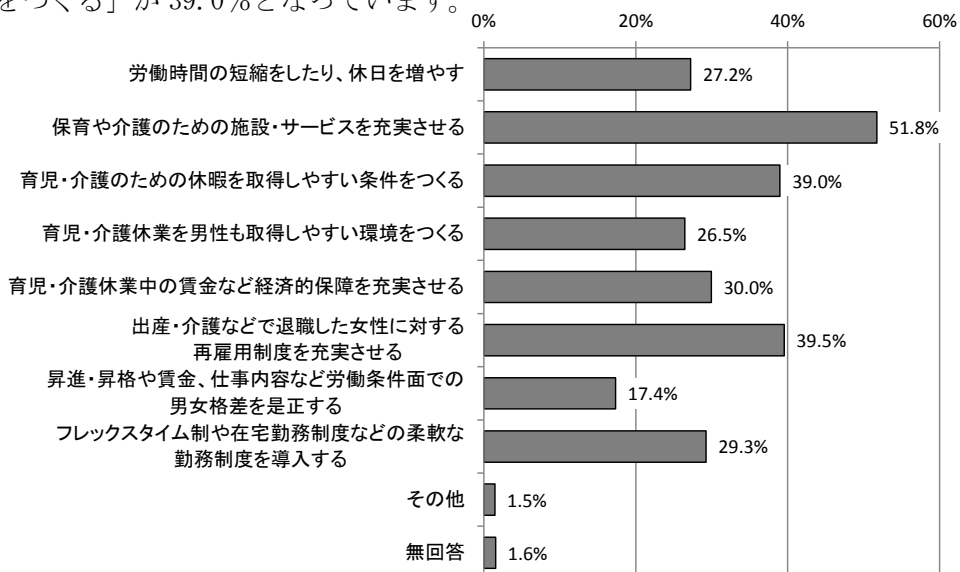
問7 あなたは、次にあげる仕事の考え方についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものはどれですか。1つ選んで○印をつけてください。

仕事の考え方については、「女性は出産や子育てで一時的に仕事をやめても、その時期が過ぎたら、再び仕事を持つほうがよい」が60.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が14.2%、「女性は子どもが生まれても仕事を続ける方がよい」が12.4%となっています。



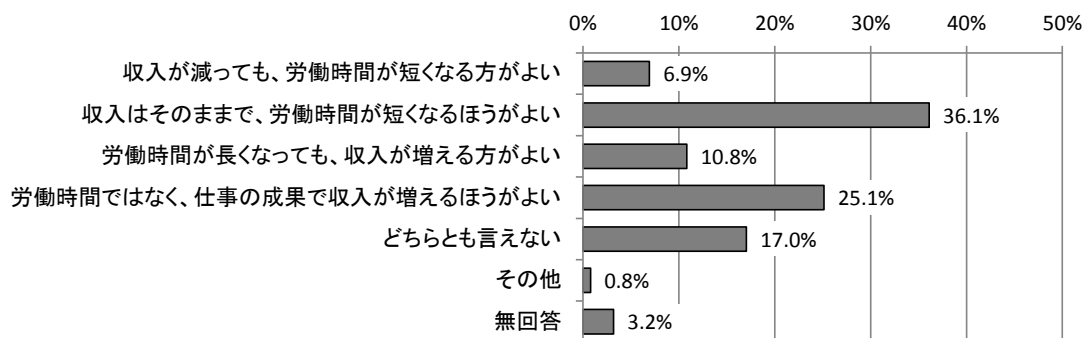
問8 あなたは、男性も女性も働きやすい社会にするためには、どんなことが必要だと思いますか。3つ以内で選び○印をつけてください。

男性も女性も働きやすい社会にするために必要なことについては、「保育や介護のための施設・サービスを充実させる」が51.8%最も高く、次いで「出産・介護などで退職した女性に対する再雇用制度を充実させる」が39.5%、「育児・介護のための休暇を取得しやすい条件をつくる」が39.0%となっています。



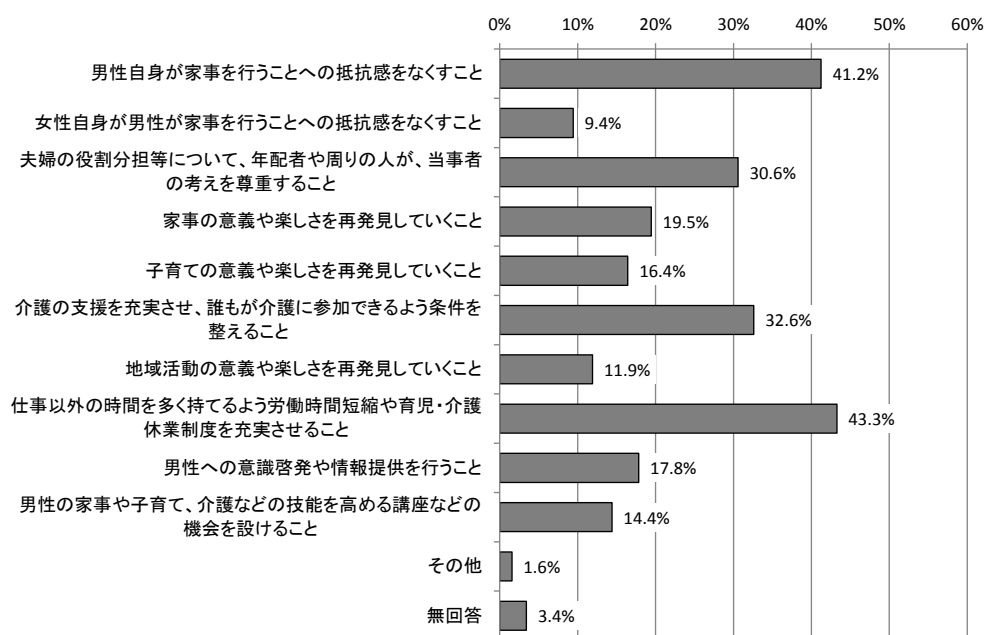
問9 収入と労働時間の関係について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。
1つ選んで○印をつけてください。

労働時間の関係については、「収入はそのまま、労働時間が短くなる方がよい」が36.1%と最も高く、次いで「労働時間ではなく、仕事の成果で収入が増える方がよい」が25.1%、「どちらともいえない」が17.0%となっています。



問10 男性が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つ以内で選び○印をつけてください。

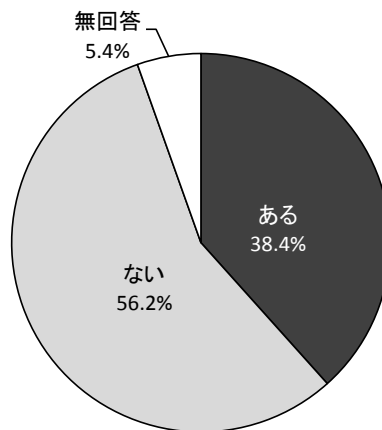
男性が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要なことについては、「仕事以外の時間を多く持つよう労働時間短縮や育児・介護休業制度を充実させること」が43.3%と最も高く、次いで「男性自身が家事を行うことへの抵抗感をなくすこと」が41.2%、「介護の支援を充実させ、誰もが介護に参加できるよう条件を整えること」が32.6%、「夫婦の役割分担について、年配者や周りの人が、当事者の考えを尊重すること」が30.6%となっています。



(3) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

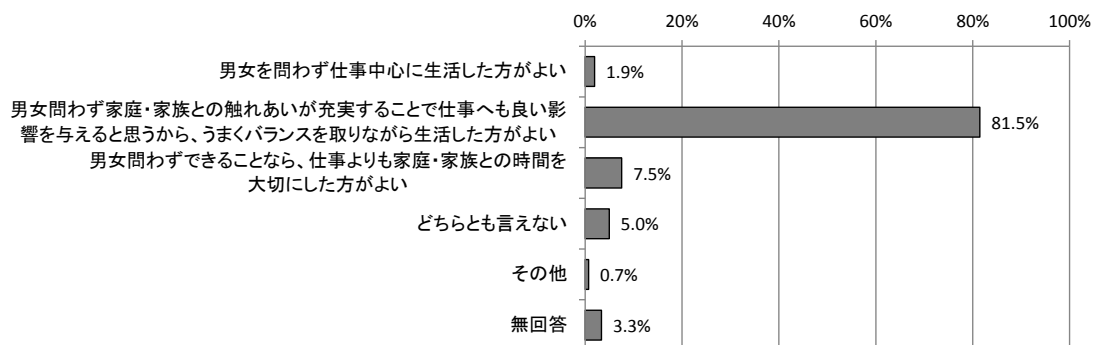
問 1 1 あなたは、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）という言葉を見たり聞いたりしたことがありますか。

「ある」という回答が 38.4%、「ない」という回答が 56.2%となっています。



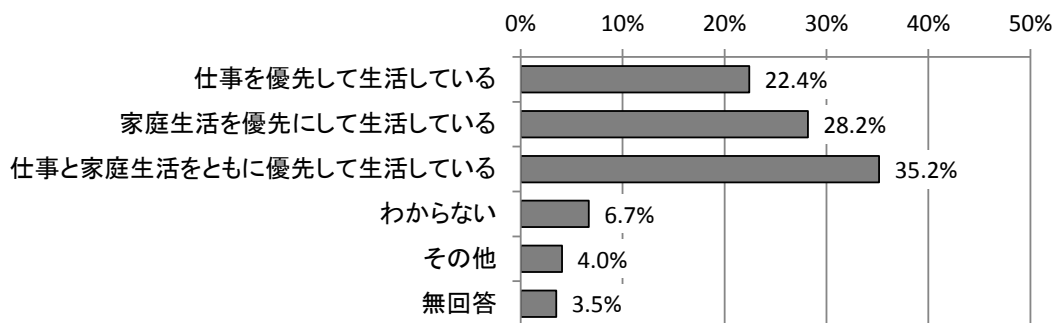
問 1 2 あなたは、次にあげる仕事の考え方についてどう思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

仕事の考え方については、「男女問わず家庭・家族との触れ合いが充実することで仕事へも良い影響を与えると思うから、うまくバランスを取りながら生活した方がよい」が 81.5%と最も高く、8割を超える方が回答しています。



問13 それでは、あなたの現実に近いものに○をつけてください。

あなたの現実に近いものについては、「仕事と家庭生活をともに優先して生活している」が35.2%と最も高く、次いで「家庭生活を優先にして生活している」が28.2%、「仕事を優先して生活している」が22.4%となっています。

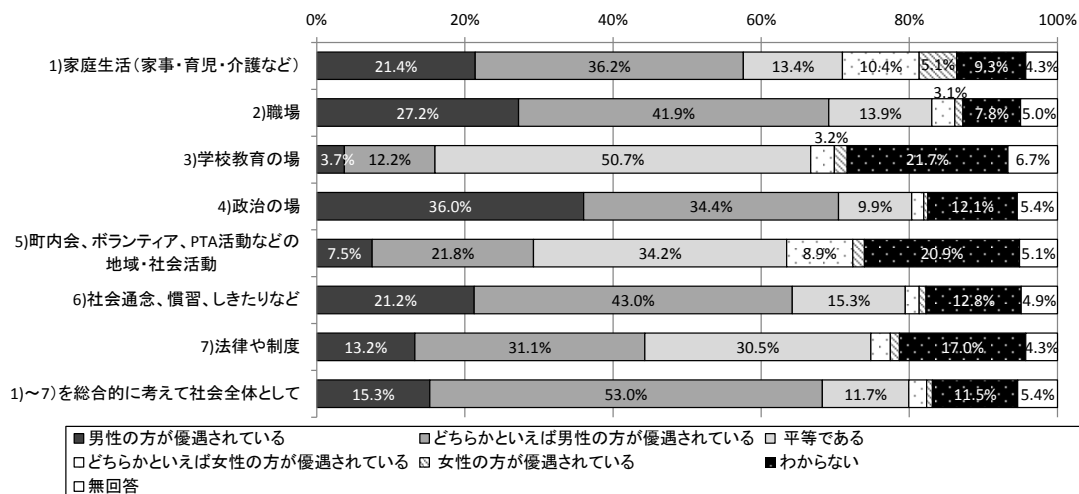


4. 男女の地位の平等について

問14 あなたは、次にあげる分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの感じ方に近いものを、それぞれ1つずつ選んで○印をつけてください。

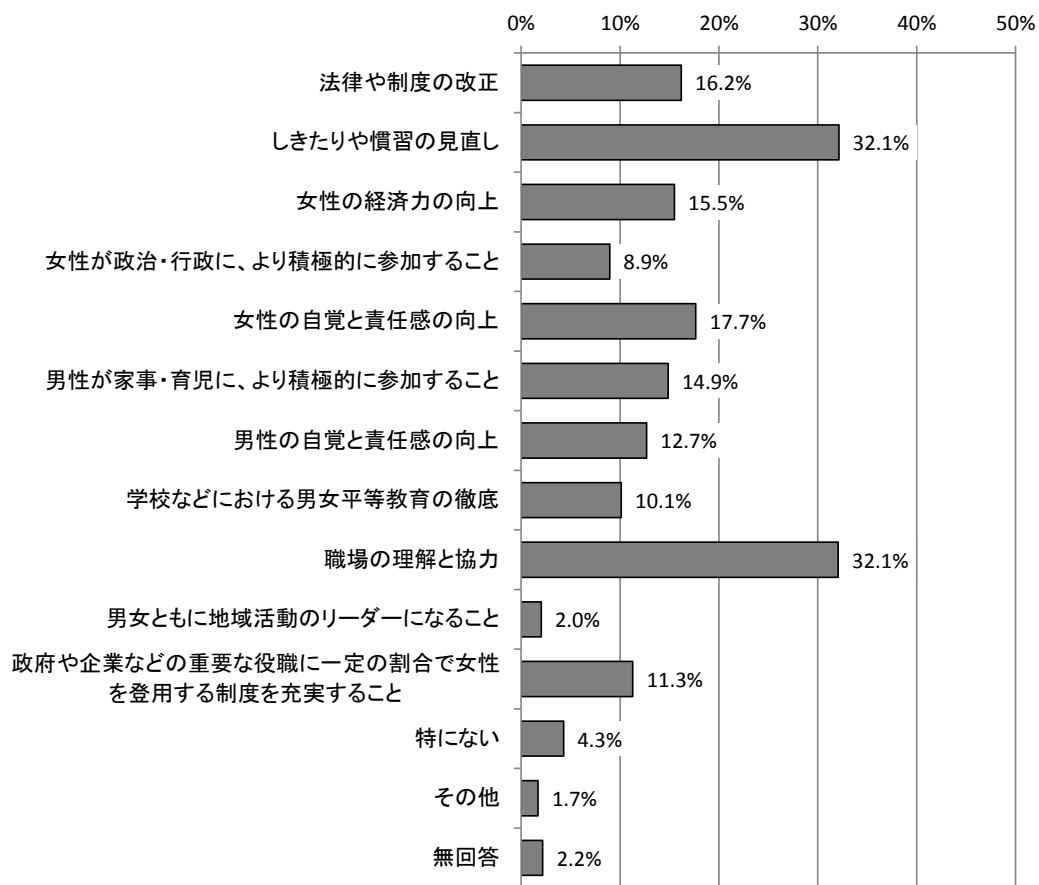
男女の地位は平等になっているかについては、「平等である」を除くと、全ての項目において、「(どちらかといえば) 男性の方が優遇されている」が「(どちらかといえば) 女性の方が優遇されている」を上回っています。

また、「平等である」という回答が多かった項目は「3) 学校教育の場」が50.7%、「5) 町内会、ボランティア、PTA活動などの地域・社会活動」が34.2%となっています。



問15 今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、あなたが重要と思うことは何ですか。次の中から2つ以内で選び○印をつけてください。

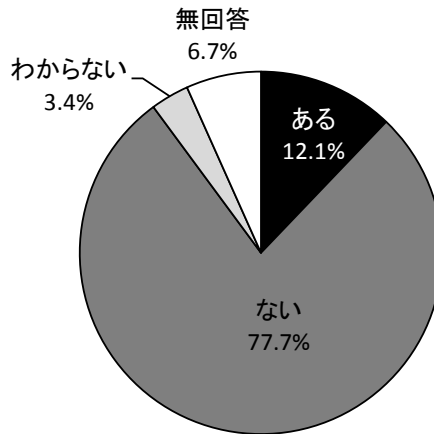
今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、重要と思うことについては、「しきたりや慣習の見直し」、「職場の理解と協力」がともに32.1%と最も高く、次いで「女性の自覚と責任感の向上」が17.7%、「法律や制度の改正」が16.2%となっています。



5. 男女の人権について

問16 配偶者（元配偶者を含む）や恋人（元恋人を含む）から、身体や精神面に対する暴力的な行為を受けた経験はありますか。

配偶者（元配偶者を含む）や恋人（元恋人を含む）から、身体や精神面に対する暴力的な行為を受けた経験については、「ある」が12.1%、「ない」が77.7%、「わからない」が3.4%となっています。

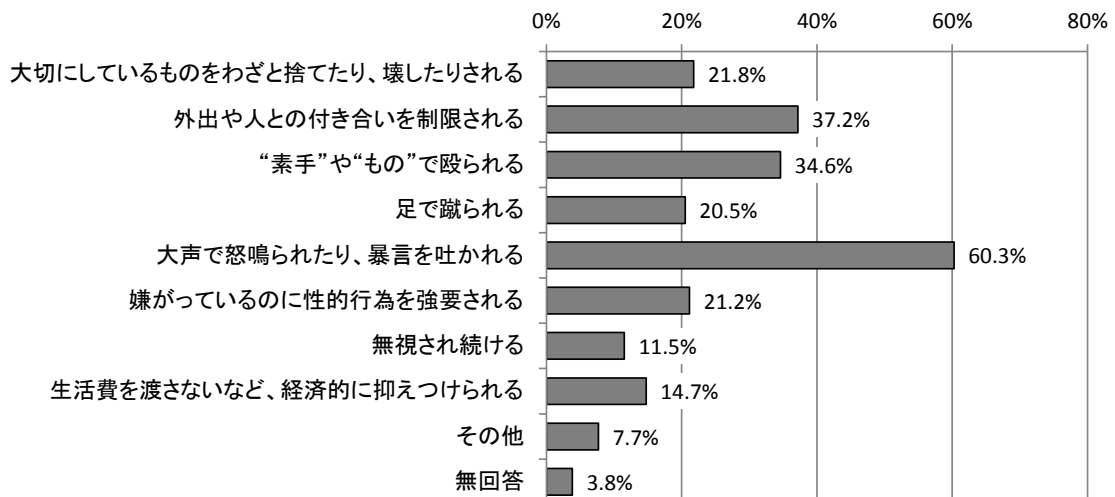


問16-1 問16で“ある”と答えた方にお伺いします。

それ以外の方は問17へお進みください。

それはどのようなことですか。差し支えなければ、該当するものすべてに○印をつけてください。

暴力的な行為の内容については、「大声で怒鳴られたり、暴言を吐かれる」が60.3%と最も高く、次いで「外出や人との付き合いを制限される」が37.2%、「“素手”や“もの”で殴られる」が34.6%となっています。

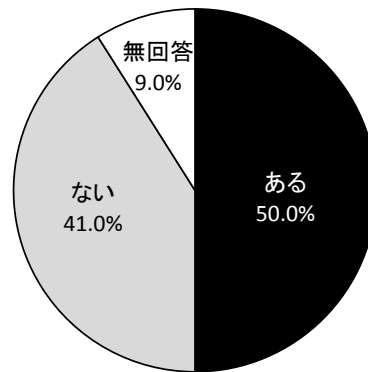


問 16-2 問 1 6 で “ある” と答えた方にお伺いします。

それ以外の方は問 1 7 へお進みください。

あなたは、これまでに受けたそのような行為を誰かに相談したことがありますか。

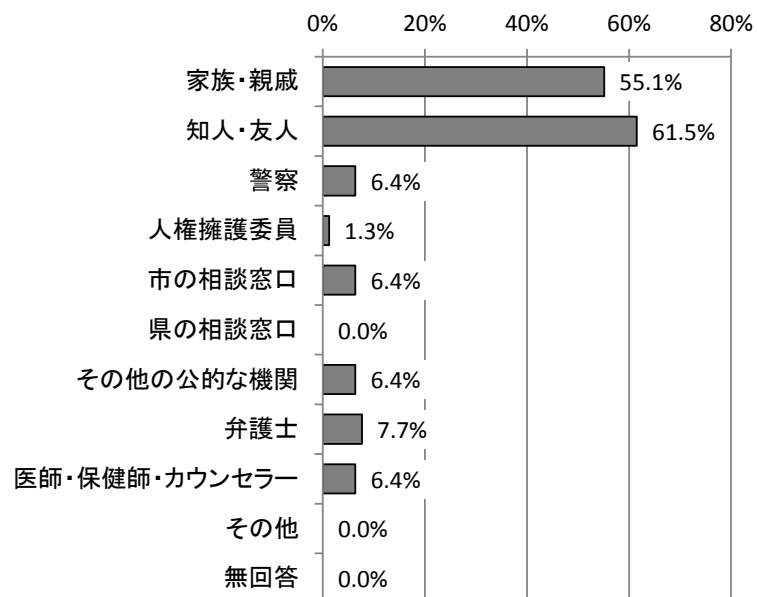
これまでに受けたそのような行為を誰かに相談したことがあるかについては、「ある」が 50.0%、「ない」が 41.0%となっています。



問 16-3 問 16-2 で “ある” と答えた方にお伺いします。

あなたは、誰(どこ)に相談しましたか。該当するものをすべて選んで○印をつけてください。

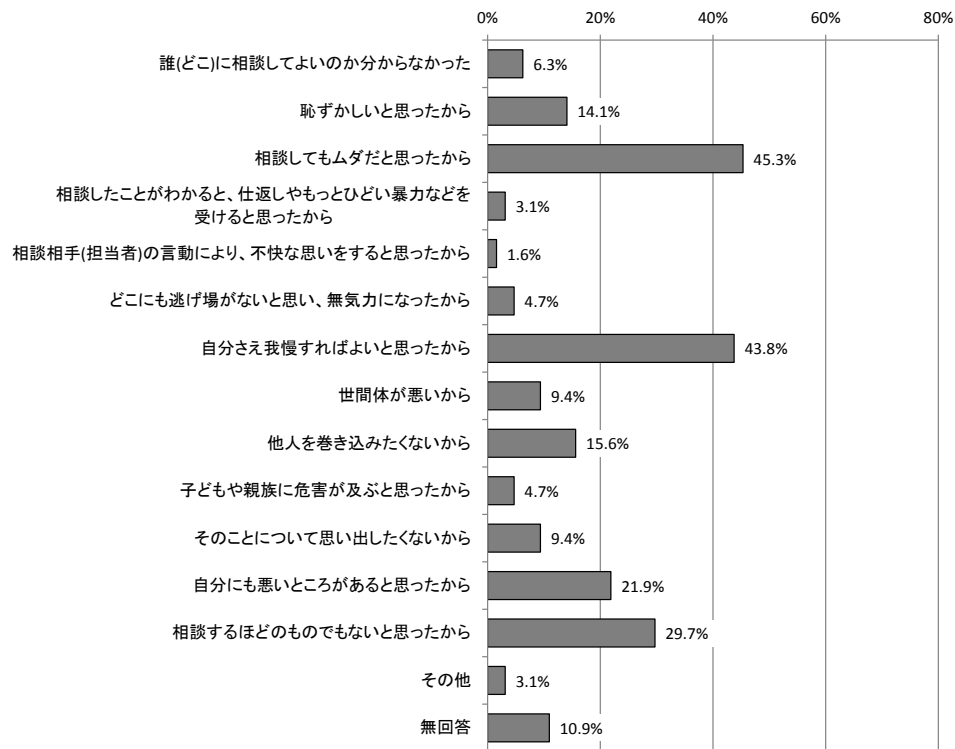
誰(どこ)に相談したかについては、「知人・友人」が 61.5%と最も高く、次いで「家族・親戚」が 55.1%となっています。



問 16-4 問 16-2 で “ない” と答えた方にお伺いします。

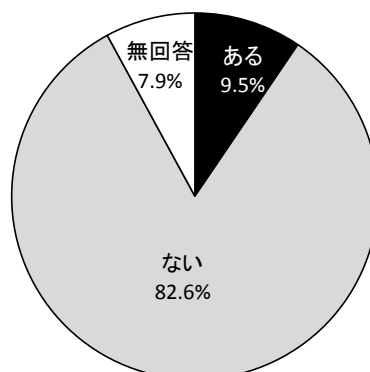
相談しなかったのはどうしてですか。該当するものすべてを選んで○印をつけてください。

相談しなかった理由については、「相談してもムダだと思ったから」が 45.3%と最も高く、次いで「自分さえ我慢すればよいと思ったから」が 43.8%、「相談するほどのものでもないと思ったから」が 29.7%となっています。



17 あなたは、職場でセクシュアル・ハラスメント(性的な嫌がらせ)を受けたことがありますか。

職場でセクシュアル・ハラスメント(性的な嫌がらせ)を受けたことがあるかについては、「ある」が 9.5%、「ない」が 82.6%となっています。

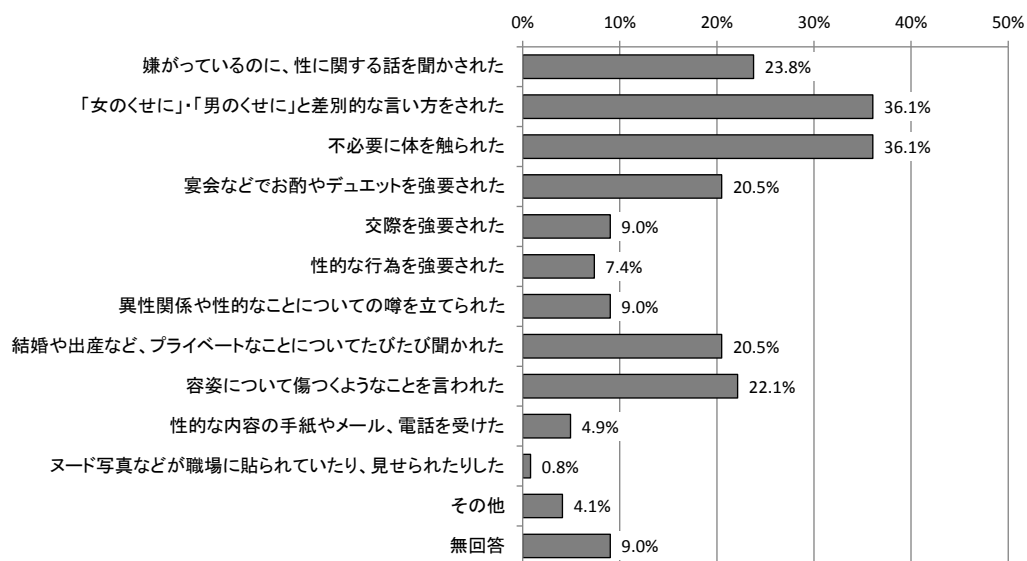


問 17-1 問 17で“ある”と答えた方にお伺いします。

それ以外の方は問 18へお進みください

あなたが受けたのはどのようなことでしたか。差し支えなければ、受けたことのあるものをすべて選んで○印をつけてください。

セクシャル・ハラスメント（性的な嫌がらせ）の内容については、「「女のくせに」・「男のくせに」と差別的な言い方をされた」、「不必要に体を触られた」がともに 36.1%と最も高く、次いで「嫌がっているのに、性に関する話を聞かされた」が 23.8%、「容姿について傷つくようなことを言われた」が 22.1%となっています。



問 18 あなたは、下記の名称をご存知ですか。

1. 土浦市男女共同参画推進条例については、「知っている」が 13.1%、「知らない」が 81.5%と 8 割以上の方が「知らない」と回答しています。

2. 土浦市男女共同参画宣言都市については、「知っている」が 12.1%、「知らない」が 81.9%と 8 割以上の方が「知らない」と回答しています。

3. 土浦市男女共同参画センターについては「知っている」が 17.5%、「知らない」が 77.4%と約 8 割の方が「知らない」と回答しています。

